



## 2020年2月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年4月14日

上場会社名 株式会社ロコンド

上場取引所 東

コード番号 3558 URL <https://www.locondo.co.jp/ir>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 田中 裕輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理本部ディレクター (氏名) 田村 淳 TEL 03-5465-8022

定時株主総会開催予定日 2020年5月28日 有価証券報告書提出予定日 2020年5月29日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期の連結業績(2019年3月1日～2020年2月29日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	8,576	27.8	83		77		256	
2019年2月期	6,711		980		862		464	

(注) 包括利益 2020年2月期 256百万円 ( %) 2019年2月期 464百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年2月期	22.83		8.3	1.5	1.0
2019年2月期	42.41		15.0	15.7	14.6

(参考) 持分法投資損益 2020年2月期 百万円 2019年2月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年2月期	4,934	3,086	62.5	272.16
2019年2月期	5,503	3,097	56.2	279.91

(参考) 自己資本 2020年2月期 3,083百万円 2019年2月期 3,094百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年2月期	108	482	581	1,722
2019年2月期	1,156	143	1,103	2,694

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年2月期		0.00		0.00	0.00			
2020年2月期		0.00		0.00	0.00			
2021年2月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 株式会社モバコレ、除外 1 社 (社名) 株式会社モバコレ

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期	11,449,560 株	2019年2月期	11,054,760 株
期末自己株式数	2020年2月期	120,410 株	2019年2月期	380 株
期中平均株式数	2020年2月期	11,228,188 株	2019年2月期	10,949,413 株

(参考)個別業績の概要

2020年2月期の個別業績(2019年3月1日～2020年2月29日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	7,367	20.0	156		173		366	
2019年2月期	6,139	54.5	902		792		399	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期	32.66	
2019年2月期	36.46	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期	4,850	3,041	62.6	268.17
2019年2月期	5,319	3,163	59.4	285.81

(参考) 自己資本 2020年2月期 3,038百万円 2019年2月期 3,159百万円

< 個別業績の前期実績値との差異理由 >

当社は、前事業年度より継続してTVCM等の広告投資を通じた認知度向上に努めた結果、売上高は増加いたしました。また、前事業年度に比べてTVCM等の広告投資を抑制したことにより、営業損失、経常損失は縮小いたしました。一方で、当事業年度において取得した株式会社モバコレに係るのれんの減損損失を計上したことなどにより、前事業年度の実績値と同程度の当期純損失となりました。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

次期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等は添付資料5ページ「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(追加情報) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、連結会計年度の末日において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	前年同期比
商品取扱高(返品前)	17,620,971	22,337,073	126.8%
商品取扱高(返品後)	14,095,045 (100.0%)	18,251,384 (100.0%)	129.5%
売上高(注) 3	6,711,180 (47.6%)	8,576,462 (47.0%)	127.8%
売上総利益	5,172,002 (36.7%)	6,436,489 (35.3%)	124.5%
EBITDA(注) 1、2	△889,117	81,222 (0.5%)	—
営業損失	△980,049	△83,494	—
経常損失	△862,735	△77,982	—
親会社株主に帰属する当期純損失	△464,405	△256,324	—
EC事業(返品前)			
出荷件数(件)	1,503,916	1,913,806	—
平均出荷単価(円)	9,618	9,278	—
平均商品単価(円)	5,862	5,539	—

(注) 1. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれんの償却額

2. 当社グループでは、2020年2月期よりののれんの償却が発生しておりますが、今後とも事業の成長加速のためM&Aを積極的に検討していく方針であり、のれんの償却が増加する可能性があります。この点を考慮し、EBITDAを参考指標として開示しております。

3. EC事業の受託型については販売された商品の手数料を、プラットフォーム事業についてはサービスの手数料を売上高として計上しております。

4. ( ) 内は商品取扱高(返品後)に対する割合を記載しております。

当連結会計年度における我が国経済は、政府による経済政策、金融政策等により企業収益、雇用環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調が続いてきたものの、消費税増税、度重なる台風による天候不順に加えて、新型コロナウイルスの影響による国内外経済の先行きは不透明な状況となっております。

このような環境のなか、当社グループは「業界に革新を、お客さまに自由を」という経営理念の下、事業に取り組んでいます。「自宅で試着、気軽に返品」の靴とファッションの通販サイト、「LOCONDO.jp」を軸とするEC事業においては、積極的なTVCMによる認知度向上、継続的な「LOCONDO.jp」の改善によるユーザー満足の向上を図って参りました。また、自社公式EC支援(BOEM)、倉庫受託(e-3PL)、店舗の欠品及び品揃え補強(LOCOCHOC)等のサービスを提供するプラットフォーム事業につきましても、サービスの強化及び導入社数の増強を図っております。

また、当社がこれまで訴求できていなかったユーザー層(20代女性)へ当社サービスの訴求等を目的に、2019年3月29日に株式会社モバコレの全株式を取得しました。また、2019年6月1日に株式会社モバコレを吸収合併し、株式会社モバコレが運営していたショッピングサイト「モバコレ」を「LOCONDO.jp」へ統合しました。これにより、旧「モバコレ」会員のアクティブ率向上を図るとともに、アパレル領域の強化を図っております。

これらの結果、商品取扱高(返品後)は18,251,384千円(前連結会計年度比29.5%増)となり、売上高につきましても8,576,462千円(前連結会計年度比27.8%増)となりました。

一方、認知度向上を目的としたTVCM等の広告宣伝費を年度前半まで積極的に投下したことにより、販売費及び一般管理費は6,519,984千円となり、EBITDAは81,222千円、営業損失は83,494千円(前連結会計年度は980,049千円の営業損失)、経常損失は77,982千円(前連結会計年度は862,735千円の経常損失)となりました。株式会社モバコレの取得時に発生したのれんについて、吸収合併したことにより会員の統合、コスト高構造の改善は達成できたも

の、売上高については当初想定を下回り、また、将来の収益獲得の不確実性が高まったことから、保守的に将来の回収可能性を検討した結果、のれんの減損損失として340,704千円を計上しました。これにより、親会社株主に帰属する当期純損失は256,324千円（前連結会計年度は464,405千円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

各事業別の業績は以下のとおりであります。

事業別	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)					
	商品取扱高 (返品前) (千円)	構成比 (%)	商品取扱高 (返品後) (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)
EC事業	14,465,971	82.1	11,037,565	78.3	5,148,647	76.7
うち、LOCONDO.jp	12,384,921	70.3	9,108,794	64.6	—	—
うち、LOCOMALL	2,081,049	11.8	1,928,770	13.7	—	—
プラットフォーム事業	2,526,421	14.3	2,430,971	17.3	985,231	14.7
ブランド事業	628,578	3.6	626,508	4.4	577,300	8.6
合計	17,620,971	100.0	14,095,045	100.0	6,711,180	100.0

事業別	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)					
	商品取扱高 (返品前) (千円)	構成比 (%)	商品取扱高 (返品後) (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)
EC事業	17,756,427	79.5	13,800,343	75.6	6,609,227	77.1
うち、LOCONDO.jp	15,318,378	68.6	11,532,474	63.2	—	—
うち、LOCOMALL	2,438,049	10.9	2,267,869	12.4	—	—
プラットフォーム事業	3,399,726	15.2	3,270,122	17.9	990,333	11.5
ブランド事業	1,180,918	5.3	1,180,918	6.5	976,902	11.4
合計	22,337,073	100.0	18,251,384	100.0	8,576,462	100.0

事業別	前期比					
	商品取扱高 (返品前) (千円)	前期比 (%)	商品取扱高 (返品後) (千円)	前期比 (%)	売上高 (千円)	前期比 (%)
EC事業	3,290,456	122.7	2,762,778	125.0	1,460,580	128.4
うち、LOCONDO.jp	2,933,456	123.6	2,423,679	126.6	—	—
うち、LOCOMALL	356,999	117.2	339,098	117.6	—	—
プラットフォーム事業	873,304	134.6	839,151	134.5	5,101	100.5
ブランド事業	552,339	187.9	554,409	188.5	399,601	169.2
合計	4,716,101	126.8	4,156,339	129.5	1,865,282	127.8

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 当社グループの事業セグメントは、靴を中心としたファッション関連商品等の販売、企画、仕入事業の単一セグメントであるため、セグメント別の販売実績の記載はしておりません。

- 「LOCOMALL」とは、「楽天市場」及び「Yahoo!ショッピング」など他社モールにて展開する「LOCOMALL」の取扱高等になります。
- EC事業の受託型に係る売上高については、販売された商品の手数料を受託販売手数料として計上しております。
- EC事業の商品取扱高（返品後）に占める受託型の取扱高は、下記のとおりです。なお、「LOCONDO.jp」と「LOCOMALL」別に受託型を把握する事が困難であるため、それぞれの売上高は記載しておりません。

	前連結会計年度	当連結会計年度
受託型商品取扱高比率	86.8%	83.6%

#### (EC事業)

EC事業につきましては、受託型と買取型の2つの取引形態があります。商品取扱高（返品前）、商品取扱高（返品後）は商品の販売価格を基に記載しておりますが、売上高は買取型については商品の販売価格を計上し、受託型については販売された商品の手数料を受託販売手数料として計上しております。「LOCONDO.jp」の運営、「楽天市場」、「Yahoo!ショッピング」など他社モールへの出店を行っており、当連結会計年度においては出荷件数は191万件、出店ブランド数は2,473と順調に増加しました。その結果商品取扱高（返品後）は13,800,343千円、売上高は6,609,227千円となりました。

#### (プラットフォーム事業)

プラットフォーム事業につきましては、ブランドの自社公式EC支援（BOEM）、倉庫受託（e-3PL）、店舗の欠品及び品揃え補強（LOCOCHOC）の運営等を行っております。「BOEM」における支援企業社数は新たに株式会社fitfitなどの開始により当連結会計年度末時点で27社となりました。これにより、当連結会計年度の商品取扱高（返品後）は3,270,122千円、売上高は990,333千円となりました。

なお、倉庫受託（e-3PL）に関しては、ユーザーへの販売を伴わない商品補充等の出荷も含まれるため、その出荷額は商品取扱高（返品前）、商品取扱高（返品後）には含めておりません。

#### (ブランド事業)

ブランド事業につきましては、EC事業及びプラットフォーム事業のサービスを活用し、自社でブランド運営を行っております。現在の主な取扱いブランドは「MANGO」、「Viola & Emma」などであり、当連結会計年度の商品取扱高（返品後）は1,180,918千円、売上高は976,902千円となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ927,947千円減少し、3,812,161千円となりました。これは主に、関係会社株式の取得、自己株式の取得等により現金及び預金が971,141千円減少したことによりです。

#### (固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ358,957千円増加し、1,121,858千円となりました。これは主に、譲渡制限付株式報酬に係る長期前払費用272,125千円を計上したことによりです。

#### (負債合計)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ557,986千円減少し、1,847,242千円となりました。これは主に、短期借入金500,000千円減少したことによりです。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ11,003千円減少し、3,086,778千円となりました。これは主に、譲渡制限付株式報酬として新株を発行したこと等により資本金と資本剰余金がそれぞれ173,304千円増加した一方で、自己株式101,127千円を取得したことと、親会社株主に帰属する当期純損失256,324千円を計上したことによるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は1,722,927千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は108,045千円となりました。これは主に税金等調整前当期純損失の計上446,364千円、仕入債務が131,573千円、未払金が224,475千円減少、たな卸資産が159,138千円増加した一方で、減損損失の計上340,704円、売上債権が321,551千円減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は482,073千円となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出398,064千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は581,068千円となりました。これは主に短期借入金の返済による支出500,000千円、自己株式の取得による支出101,127千円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年2月期	2020年2月期
自己資本比率 (%)	56.2	62.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	252.1	202.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	—	462.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	16.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 株式時価総額は発行済株式数をベースに計算しております。

2. 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

3. 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

4. 2019年2月期より連結財務諸表を作成しているため、2018年2月期以前のキャッシュ・フロー関連指標の記載をしております。

5. 2019年2月期は営業キャッシュ・フローがマイナスのため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオの記載を省略しています。

(4) 今後の見通し

2021年2月期(2020年3月1日～2021年2月28日)につきましては、引き続きプラットフォーム事業のサービス強化、ブランド事業におけるプライベートブランドの強化などを推進してまいります。現時点で今後の見通しを合理的に予測することが困難であるため、2021年2月期の業績予想につきましては未定としております。

今後、業績予想を合理的に予測することが可能となった段階で、速やかに業績予想を開示する予定であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,741,568	1,770,427
受取手形及び売掛金	632,675	547,737
電子記録債権	228,271	141,441
商品	894,250	1,151,118
貯蔵品	9,481	10,715
その他	233,860	190,722
流動資産合計	4,740,108	3,812,161
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	41,628	49,134
減価償却累計額	△5,789	△13,460
建物及び構築物（純額）	35,838	35,673
工具、器具及び備品	201,130	217,489
減価償却累計額	△70,636	△114,329
工具、器具及び備品（純額）	130,494	103,160
その他	5,555	9,778
減価償却累計額	△2,515	△6,038
その他（純額）	3,039	3,740
有形固定資産合計	169,372	142,573
無形固定資産		
ソフトウェア	94,220	117,163
その他	509	324
無形固定資産合計	94,729	117,488
投資その他の資産		
投資有価証券	236,184	208,506
長期前払費用	-	272,125
敷金及び保証金	261,615	238,011
繰延税金資産	-	141,154
その他	1,000	2,000
投資その他の資産合計	498,799	861,797
固定資産合計	762,901	1,121,858
資産合計	5,503,010	4,934,020

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	152,389	142,569
受託販売預り金	481,965	559,530
短期借入金	1,000,000	500,000
未払金	478,811	378,177
未払法人税等	3,988	33,084
ポイント引当金	45,044	23,862
その他	123,427	194,249
流動負債合計	2,285,627	1,831,474
固定負債		
繰延税金負債	63,023	-
その他	56,577	15,767
固定負債合計	119,601	15,767
負債合計	2,405,228	1,847,242
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,153,436	1,326,740
資本剰余金	1,931,718	2,105,023
利益剰余金	9,437	△246,887
自己株式	△391	△101,518
株主資本合計	3,094,200	3,083,357
新株予約権	3,581	3,420
純資産合計	3,097,781	3,086,778
負債純資産合計	5,503,010	4,934,020

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
売上高	6,711,180	8,576,462
売上原価	1,539,177	2,139,973
売上総利益	5,172,002	6,436,489
販売費及び一般管理費	6,152,052	6,519,984
営業損失(△)	△980,049	△83,494
営業外収益		
受取利息	33	174
消費税差額	—	25,014
物品売却益	2,956	3,174
受取手数料	109,000	—
その他	12,304	2,079
営業外収益合計	124,294	30,443
営業外費用		
支払利息	145	6,652
為替差損	6,834	15,893
その他	0	2,385
営業外費用合計	6,980	24,932
経常損失(△)	△862,735	△77,982
特別利益		
関係会社株式売却益	397,675	—
その他	25	—
特別利益合計	397,700	—
特別損失		
減損損失	—	340,704
その他	—	27,677
特別損失合計	—	368,382
税金等調整前当期純損失(△)	△465,035	△446,364
法人税、住民税及び事業税	5,100	14,137
法人税等調整額	△5,729	△204,177
法人税等合計	△629	△190,039
当期純損失(△)	△464,405	△256,324
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△464,405	△256,324

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
当期純損失(△)	△464,405	△256,324
包括利益	△464,405	△256,324
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△464,405	△256,324
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,103,014	1,881,297	473,843	△391	3,457,763
当期変動額					
新株の発行	50,421	50,421			100,842
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△464,405		△464,405
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	50,421	50,421	△464,405	—	△363,563
当期末残高	1,153,436	1,931,718	9,437	△391	3,094,200

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	996	3,458,760
当期変動額		
新株の発行	△310	100,532
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)		△464,405
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	2,894	2,894
当期変動額合計	2,584	△360,978
当期末残高	3,581	3,097,781

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,153,436	1,931,718	9,437	△391	3,094,200
当期変動額					
新株の発行	173,304	173,304			346,609
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△256,324		△256,324
自己株式の取得				△101,127	△101,127
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	173,304	173,304	△256,324	△101,127	△10,842
当期末残高	1,326,740	2,105,023	△246,887	△101,518	3,083,357

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	3,581	3,097,781
当期変動額		
新株の発行		346,609
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)		△256,324
自己株式の取得		△101,127
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△160	△160
当期変動額合計	△160	△11,003
当期末残高	3,420	3,086,778

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失 (△)	△465,035	△446,364
減価償却費	89,568	88,232
のれん償却額	1,364	76,484
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	35,339	△21,181
受取利息及び受取配当金	△33	△174
支払利息	145	6,652
関係会社株式売却損益 (△は益)	△397,675	—
減損損失	—	340,704
売上債権の増減額 (△は増加)	△129,627	321,551
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△143,824	△159,138
仕入債務の増減額 (△は減少)	△244,260	△131,573
受託販売預り金の増減額 (△は減少)	151,803	77,565
未払金の増減額 (△は減少)	93,779	△224,475
その他	△74,286	169,416
小計	△1,082,741	97,698
利息及び配当金の受取額	33	174
利息の支払額	△145	△6,652
法人税等の支払額	△73,436	△587
法人税等の還付額	—	17,412
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,156,290	108,045
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△130,515	△30,301
無形固定資産の取得による支出	△41,994	△53,891
関係会社株式の取得による支出	△803,100	△1,000
関係会社株式の売却による収入	1,000,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△119,900	△398,064
敷金及び保証金の差入による支出	△25,090	△6,822
敷金及び保証金の回収による収入	13,058	8,005
その他	△35,801	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△143,343	△482,073
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	1,000,000	△500,000
自己株式の取得による支出	—	△101,127
株式の発行による収入	100,842	20,059
その他	2,584	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,103,427	△581,068
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,877	△16,045
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△202,084	△971,141
現金及び現金同等物の期首残高	2,896,153	2,694,068
現金及び現金同等物の期末残高	2,694,068	1,722,927

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

2019年3月に株式取得にて子会社化した株式会社モバコレの取得時に発生したのれんについて、2019年6月に同社を吸収合併したことにより会員の統合は進んだものの、売上については当初想定を下回ったことにより、将来の収益獲得の不確実性が高まったことから、保守的に将来の回収可能性を検討した結果、使用価値を零と評価し2020年2月期に決算において、のれんの減損損失として全額の340百万円を計上することになりました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、靴を中心としたファッション関連商品等の販売、企画、仕入事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	EC事業	プラットフォーム事業	ブランド事業	合計
外部顧客への売上高	5,148,647	985,231	577,300	6,711,180

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客売上高のうち、売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	EC事業	プラットフォーム事業	ブランド事業	合計
外部顧客への売上高	6,609,227	990,333	976,902	8,576,462

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客売上高のうち、売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年3月1日 至 2020年2月29日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年3月1日 至 2019年2月28日）

当社グループは、靴を中心としたファッション関連商品等の販売、企画、仕入事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2019年3月1日 至 2020年2月29日）

当社グループは、靴を中心としたファッション関連商品等の販売、企画、仕入事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年3月1日 至 2019年2月28日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年3月1日 至 2020年2月29日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
1株当たり純資産額	279円91銭	272円16銭
1株当たり当期純損失金額(△)	△42円41銭	△22円83銭

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失金額であるため記載していません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
純資産の部の合計額(千円)	3,097,781	3,086,778
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	3,581	3,420
(うち、新株予約権(千円))	(3,581)	(3,420)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,094,200	3,083,357
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	11,054,380	11,329,150

3. 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
1株当たり当期純損失金額(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失金額(△) (千円)	△464,405	△256,324
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失金額(△)(千円)	△464,405	△256,324
普通株式の期中平均株式数(株)	10,949,413	11,228,188

(重要な後発事象)

該当事項はありません。